

ほほえみ

法人経営理念

『地域、利用者と共に職員自らによる
福祉価値の創造と
持続的な幸福生活の追求』

施設理念

『私たちは、利用される一人ひとりと
手をつなぎ、心をあわせ、
だれもが自分らしさを大切にできる
ことを原点とします。』

天皇陛下より御下賜金を賜りました

2025年2月20日、天皇陛下より社会福祉法人さくまに対して御下賜金(ごかしきん)が下賜されました。

御下賜金(ごかしきん)とは、天皇誕生日(2月23日)に際し、天皇陛下から社会福祉事業御奨励の思し召しをもって、社会福祉事業に携わる事業成績優秀な施設・団体に対して、金員が下賜されるものです。



(左より中野浜松市市長、笹ヶ瀬理事長、岩見本部事務局長、中野施設長)

ご挨拶

この度、さくまの里(社会福祉法人さくま)は、2024年度の優良民間社会福祉事業施設として、天皇陛下からの御下賜金を拝受いたしました。

1997年の開設から高齢者が適切な援助を受けられる生活の場を確保すべく、中山間地域の高齢者福祉拠点としての長年にわたる貢献が評価され、浜松市役所において、中野祐介市長より御下賜金の伝達がされました。

これまで法人運営にご理解とご協力をいただいている地域の皆様をはじめ、関係者の皆様、また、ご利用者やご家族の支えにより下賜されたものと、深く感謝申し上げます。

今回の拝受は、法人・職員にとって大変な名誉であり、今後の運営にとっても励みとなります。また、長年サービス維持に努める地元の心ある職員皆さんの献身的な働きこそが、さくまの里の誇りであり、大切な財産です。

これからも、この地域の実情にあわせながら、唯一無二の社会福祉法人として、地域の皆様と職員が、ともに手をつなぎ、心をあわせて、この地域の課題に向き合い、さくまだからこそできる福祉サービスを実践し、地域の安心で幸福生活の実現に向け、法人としての役割を果たしてまいります。

理事長：笹ヶ瀬 慶造

2025年度 事業計画

地域、ご利用者への更なるサービス向上を目指して2025年度事業計画を以下の通り策定いたしました。達成に向けて着実に取り組んでまいります。

〈顧客の視点〉

1. 地域、利用者ニーズに柔軟に対応することができる。

(ア) 地域の実情にあわせた利用者・職員のウェルビーイング向上につながるサービスの提供

- ① 在宅生活高齢者等のニーズ把握と支援、あわせて地域公益活動を継続的に実施する。
- ② 地域における各種団体の協議会等に積極的に参加し、情報共有を図る。

(イ) 施設入居者、地域の在宅生活高齢者が安心して生活できるサービスの提供

- ① 旧いもほりの家での新規サービスを決定する。
- ② 利用者が日々の生活の中で、生きがいや安心感の持てるサービスを提供する。
- ③ 里マルシェ（市場）イベントとサービス相談会を企画する。

〈業務プロセスの視点〉

2. 地域資源との連携を深め、開かれた施設サービスが提供できる。

(ア) 地域人口動態や事業規模など、今後のサービス提供範囲など、その方向性を検討する。

- ① 既存事業の最適規模化についての将来計画を策定する。
- ② 佐久間病院との連携をさらに強化し、医療・介護の切れ目ないサービス提供を行う。
- ③ 高齢者生活福祉センター・元気はつらつ教室事業の維持、有効利用の促進を図る。

(イ) 職員確保のための採用力強化と働きやすい職場環境（ICT化）の向上

- ① ホームページ見直しや外部求人ソースの活用により、里イメージ向上と正しい理解を促進する。
- ② 見守りシステム等のICT化を検討し、職員の生産性と利用者サービスの向上を図る。

(ウ) 特養待機者数の正確な把握と新規入居申込者の確保を図る

- ① 地域内外の関係機関への広報（入居に特化したPRなど）を強化し、新規入居申込者の確保を図る。

(エ) 積極的な広報により、サービスを必要とされる地域の拡大を行う

- ① 三遠南信道路活用による県またぎ隣接町の新たな利用者を獲得する。
- ② 新しいパンフレットの作成と、地域内の説明会（施設、サービス紹介）を実施する。

(オ) 危機管理体制を一層強化する

- ① 既存BCP（事業継続計画）を随時見直し、災害や感染症に対応できる実効性の高いものにする。
介護事故防止・虐待防止・身体拘束廃止の取り組みを引き続き徹底する。
- ② 大規模災害、リスク管理及び利用者の快適な生活支援のため、施設設備の計画的修繕を実施する。

〈職員の学習と成長の視点〉

3. 全職員が専門性、組織性、人間性を高め、自分らしく能力が発揮できる。

(ア) 資格取得の支援体制の強化専門的知識の向上

- ① 介護福祉士、介護支援専門員資格取得の支援及び認知症専門研修の受講を推進していく。
- ② 資格取得にかかる財政的支援制度化の決定

(イ) 職員の満足度を高める働き方の工夫改善

- ① 日常の仕事の中で職員自らが考え行動できるための教育的支援と目標管理制度を充実する。
- ② 仕事に見合う給与制度の充実を図る。（定年・再雇用制度や時給・各種手当の見直し）
- ③ 功労表彰制度の積極的活用

〈財務の視点〉

4. 最適事業規模による持続可能な安定した経営基盤が確立できる。

(ア) 労働生産性の向上

- ① 給与換算職員一人当たりサービス活動収益前年度比5%以上の向上
- ② 在宅サービスにおける給与換算職員一人当たり利用者延件数前年度比2%以上の向上
- ③ サービスのレベルアップと同時に経営改善の視点から2つ以上の新たな加算の算定取得

(イ) 安定した法人経常増減差額率の維持

- ① 法人経常増減差額率1%以上

(ウ) 長期人的資源に見合う事業規模構築の計画策定

- ① 将来を見据えた持続可能な事業区分ごとの体制を創出
- ② 職員離職率5%以下

高齢者生活福祉センター空きあります

さくまの里の中にある「高齢者生活福祉センター」では、一定期間、部屋を借りて生活することができます。60歳以上の一人暮らしやご夫婦のみの世帯、家族による援助を受けることが難しい方など、ご自宅での生活に不安を感じている方がご利用いただけます。

対象となる方 自立した方から介護1までの方

利用料金 1日当たり 3,050円（食費、電気・水道代込み）

※その他にも所得に応じて月額0円～50,000円がかかります。



部屋はワンルームタイプで、簡易キッチンやユニットバス、エアコン付きで自宅のように生活していただけます。また厨房で作った温かい食事をご提供いたします。



移動スーパーとくし丸



デイサービスセンター



ホームヘルプサービス

その他に移動スーパーでの買い物、通院など、飲食や外出は自由にできます。基本的な生活はご自身でしていただくことになります。また介護認定を受けている方は別途デイサービスやホームヘルプサービスを利用することができ、入浴や居室の清掃などの生活支援を受けることが可能です。

随時見学もできますので、お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ

社会福祉法人さくま さくまの里

●担当：中野

●TEL：053-965-1855



高校生との交流



浜松湖北高校佐久間分校2年生の皆さんがデイサービスセンターに来所されました。保健体育の授業の一環として、生徒さんたち自らがレクリエーションを考え実施してくれました。みんなで一緒に体操したり、ゲームをしたりと、コミュニケーションを取りながら楽しむことができ、普段よりさらに活気のある時間となりました。ぜひまた来てくださいね。楽しい時間をありがとうございました。



元気はつらつ教室



元気はつらつ教室では、座布団づくりにチャレンジしました。厚みがあり座り心地のいい座布団を目指しましたが意外と難しく、手芸の得意な利用者様が先生となって教えてくれました。手縫いで一針一針縫うのはなかなか大変でしたが、その分完成した時の達成感は大きく、いい座布団ができたねと皆さんご満悦でした。

お買い物企画を開催しました

先日、浜松市社会福祉協議会天竜地区センターと包括支援センター北遠中央のご協力のもと、豊川市のふくまるさんと、東栄町のぼたびさんに来ていただき、衣料品やドーナツの販売を行いました。普段、買い物に出ることが難しい利用者の皆さんですが、ご家族や職員と一緒に「どれにしようか？」と選んで購入していただくことができました。久しぶりにお買い物の雰囲気を感じていただき、大好評でした。



ふくまるの皆さん。
たくさんの洋服を持って来てくれました。



ぼたびさん。
美味しいドーナツが全て売り切れました。



たくさんの商品の中から選ぶのに悩む姿が多く見られました。



口腔ケア勉強会

平賀歯科医院の平賀先生をお招きし、介護職員に対する口腔衛生管理に係る技術的助言、指導、ご入居者に対する個別指導を目的とした勉強会を実施しました。

焦らずじっくりと利用者と向き合っていくことが重要で信頼関係を作り無理強いはいらないということを学びました。



さくまの里 稼働状況（2月）

サービス		定 員	利用者数（1日平均・月末時点）
特別養護老人ホーム（入居）		44名	43.0名
短期入所生活介護（ショートステイ）		20名	21.9名※特養空床利用有
通所介護（デイサービス）	一般型	25名／日	13.9名
	認知症対応型	8名／日	3.8名
訪問介護（ホームヘルプサービス）		—	7.3名
高齢者福祉センター（生活支援ハウス）		19名	6.0名

随時お申し込み受付中。早急な特養入所をご希望の方はお問い合わせください。

ご寄贈のお願い

さくまの里では、古くなった衣類・タオル等を切り、使い捨てのおしり拭きや感染症対策の清掃等に使用しています。またオムツを捨てる際に古新聞に包んで捨てています。

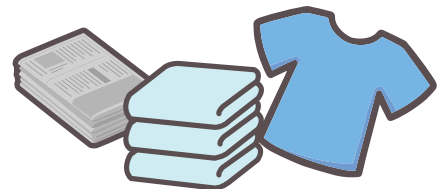
ご家庭で不要になりました布類や古新聞がありましたら、ぜひご寄贈ください。（布類は綿100%でタオル地やTシャツなどの肌触りが良いものを探しています。）

さくまの里までご連絡いただければ取りに伺います。ご協力をお願いいたします。

連 絡 先

社会福祉法人さくま さくまの里

☎ 053-965-1855



社会福祉法人 さくま 「さくまの里」

- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター（一般型）
（認知症型）
- 高齢者生活福祉センター
- ホームヘルプサービスセンター
- 在宅介護支援センター

〒431-3908
静岡県浜松市天竜区佐久間町中部18-15
TEL：053-965-1855

発行責任者 中野 幸代

花粉症もあり、びっくりするほど伸びる雑草には辛くなるが、それでも私は春が好きだ。木々の新緑をみるとなにかしようにとはずむ気持ちになる。ガクッ（M.O）

編集後記

ご寄付・ボランティア

ありがとうございました。
（1～3月・順不同、敬称略）

ご寄付

- 川添 和枝
- 匿名(8名)
- 中野 直代

苦情受付と対応

2024年度社会福祉法人さくまにおいて、公表すべき苦情はありませんでした。